

各 位

株式会社ヤマダホールディングス

**ヤマダホールディングス DX 戦略による業務効率化を SmartDB®で実現****～働き方改革およびペーパーレス化による SDGs 目標達成へ～**

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 社長 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）は、「デジタルの民主化（※1）」のリーディングカンパニー 株式会社 ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）における、大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」を2019年9月に導入しました。2022年5月時点で、SmartDB®を導入した効果について、紙の業務プロセスをデジタル化したことで意思決定のスピードは格段に向上し、作業時間は年300時間程度の削減が見込まれるなどの効果が確認できました。なお、その効果をまとめた活用事例記事を、本日2022年6月9日に公開したことをお知らせします。

※1 現場部門（非IT部門）が自らデジタルを活用し、全社のデジタル化を加速させること

<https://www.dreamarts.co.jp/democratization/>

**■ 迅速に環境変化へ対応するため「現場での内製化」を指向**

ヤマダホールディングスは、「暮らしまるごと」をコンセプトにデンキ、住建、金融、環境、その他の5つの事業を展開、主力である家電小売事業においては市場No.1のシェアを獲得しているリーディングカンパニーです。近年では、ホールディングス体制への移行やM&Aを通し更なる成長を続けています。

企業規模が拡大する一方で、“紙”の書類による業務負荷の高まりが大きな課題となっていました。そこでヤマダホールディングスでは、デジタルトランスフォーメーション（DX）戦略に基づく全社における業務効率化と働き方改革の推進、そしてペーパーレス化による環境保護を通じてSDGs目標を達成すべく、ひとつのツールでできるだけ広い範囲の現場要望に対応できる新たな業務システム基盤の導入を検討開始。また、スピードが命のビジネス環境の変化に迅速に対応するため「内製化」を前提としたDX推進の必要性から複数サービスを検討した結果、DXの土台となるシステム、基盤として、多岐にわたる

業務のデジタル化をカバーでき、直感的に開発ができるSmartDB®を採用することとなりました。

### ■ 総務部が主体となり、業務デジタル化の範囲を続々と拡大中

現在は、全店舗への電子棚札やデジタルサイネージの導入など店舗スタッフを支えるためのシステム活用と並行し、営業効率の最大化のためSmartDB®による全社の業務デジタル化を推進しています。業務デジタル化による業務効率向上をさらに加速するために、総務部内にSmartDB®の開発・運用に特化した「総務デジタル運用課」を新設し、総務主管の申請業務のデジタル化を実行中。既に、多数の業務アプリをノーコード開発で内製し本番運用を開始しています。紙の業務プロセスをSmartDB®でデジタル化したことで起案から承認までのスピードが格段に向上。作業時間の削減効果は、SmartDB®導入後の1年で300時間程度になると概算しています。特に、働く場所の制約が取り払われ社外での意思決定や業務進行が可能になったことで、承認をする立場となることが多い経営層を中心に積極的な利活用が進んでいます。

### ■ ヤマダホールディングス担当者のコメント（事例記事より抜粋）



これまでに蓄積したノウハウを元に、さらに多くの業務プロセスをデジタルへ移行したり、新たな業務ワークフローを開発したりしていくことで、この効果はさらに増幅すると見込んでいます。

人事総務本部 総務部  
部長  
中谷 勇司 氏



デジタル化したことで申請書の起案と承認が、外出先や出張先からもできるようになりました。

作業時間の短縮と効率向上の点で、社員と管理職の双方から良い評価を得ています。

人事総務本部 総務部 総務デジタル運用課  
久保 健司 氏

このたび公開した事例記事では、ヤマダホールディングスがSmartDB®を導入するに至った背景や達成した成果について詳しく紹介しています。下記ページより事例記事をご覧ください。

活用事例記事 <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/case/yamadahd/ya220609/>

■ **SmartDB® (スマートデービー) について** <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェアNo.1 (※2) の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。ワークフローとWebデータベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細やかな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱UFJ銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に50万名以上が利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※2テクノ・システム・リサーチ「2021年 SaaS型ワークフロー市場メーカーシェア (従業員数1,000名以上)」より

■ **株式会社ドリーム・アーツについて** <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996年12月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICTだけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決をICTと「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウドSmartDB®、多店舗オペレーション改革を支援する「Shopらん® (ショッピング)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX® (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

ヤマダデンキは、全国に広がる店舗ネットワーク等を通じ、「暮らしまるごと」をコンセプトに、家電をコアとして、家具・インテリア等をはじめとする生活にかかるあらゆる商品の取扱いをしています。今後も、多様なニーズにお応えする質の高いオリジナル商品の開発に努めるとともに、多彩な商品やサービスを通じて快適な暮らしのご提案をまいります。

以上

【発行元】株式会社ヤマダホールディングス 経営企画室 広報課

電話：027-345-8947 FAX：027-345-8948 E-mail：ymd\_kouhou@yamada-denki.jp

---

上記記載の情報は、2022年6月9日現在の情報であり、今後予告なしに変更されることもありますので、あらかじめご了承ください。